

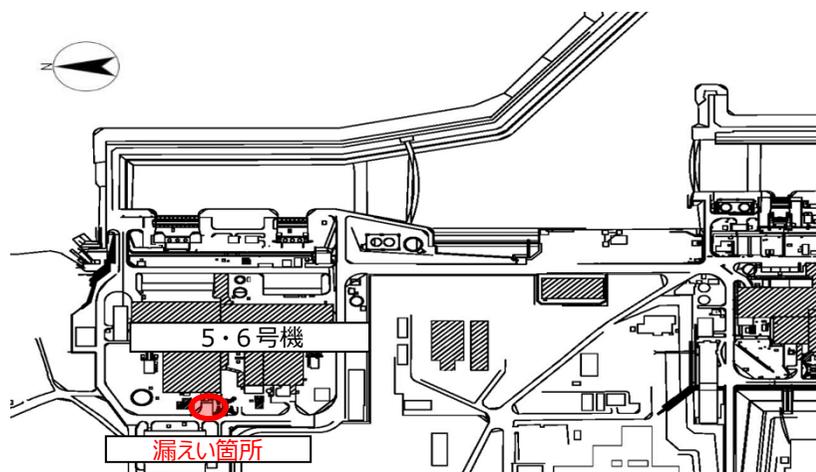
福島第一原子力発電所

6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前における水の漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2020年12月4日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

<概要>

- 本日（12月4日）午前11時5分頃、6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前において、ケーブル洞道内に設置されていた仮設ポンプの電源ケーブルを、誤ってコンセントに差し込み、稼働させたことに伴い、ケーブル洞道内に溜まっていた水が、6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前のコンクリート面に漏えいしたことを、協力企業作業員が確認しました。
- 漏えいを確認後、誤って差し込んだ電源ケーブルを直ちに引き抜き、漏えいが停止したことを確認しています。
- 漏えい範囲は約3m×約8m、深さ約1～2mmと推定しており、漏えい量は約20～40リットルと推定しています。また、漏えいした水については、現在、分析を行っています。
- 漏えいした水は、6号機廃棄物処理建屋大物搬入口前のコンクリート面、および、一部の水が側溝に流れました。コンクリート面に流れた水は回収済みであり、また、側溝に流れた水については、側溝内に留まっていることを確認しています。なお、念のため、側溝内に土のうを設置し、水が流れない対策を講じています。今後、回収作業等を検討してまいります。
- 敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しています。
- ケーブル洞道内を照らすための仮設照明を点灯するため、本来、仮設照明の電源ケーブルをコンセントに差し込むところ、誤って、ケーブル洞道内に設置されていた仮設ポンプの電源ケーブルをコンセントに差し込んだことにより、水が漏えいしたことが原因であり、今後、仮設ポンプの電源ケーブルを、誤ってコンセントに差し込んだ原因について深掘りし、適切に再発防止対策を講じてまいります。



【構内配置図】



【現場状況】